

令和 4年11月 9日
秋田河川国道事務所
湯沢河川国道事務所
能代河川国道事務所

冬タイヤ 7割が未装着

～秋田県内の直轄国道峠部3地点で調査（11/7 実施分）～

地点毎の装着率

3地点の平均 **28.8%**（前回－%）

| | | |
|----------------------|-------|--------|
| 国道46号 仙岩峠付近（野中交差点） | 46.1% | （前回－%） |
| 国道13号 雄勝峠付近（新万石橋交差点） | 27.0% | （前回－%） |
| 国道7号 矢立峠付近（白沢交差点） | 13.0% | （前回－%） |

※各調査地点毎に四捨五入しているため、3地点の平均値と合わない場合があります。

※過去の装着率については、別添をご覧ください。

【調査趣旨】

秋田県内では、11月に入ると降雪や朝夕の気温低下により、路面が滑りやすくなり、夏タイヤ使用によるスリップ事故や、走行不能に陥る車両、ノロノロ運転による渋滞発生などが非常に多くなります。

その対策として、平成16年度から初冬期の11月を「冬タイヤ装着月間」として早期の冬タイヤ装着を促す運動を実施してきたところです。

本運動の一環として、平成23年度から11月の毎週初めに「冬タイヤ装着率調査」を実施し、その結果を広くお知らせすることにより、冬タイヤの早期装着を啓発しています。

上記装着率は抽出データです。

冬タイヤ装着で安全で確実な冬道運転を！

<記者発表会>

秋田県政記者会、横手記者会、大仙市地方紙、秋田建設工業新聞社、建設新聞社秋田支局、能代記者クラブ、北秋田市記者クラブ、大館市記者クラブ

<問い合わせ先>

国土交通省 東北地方整備局

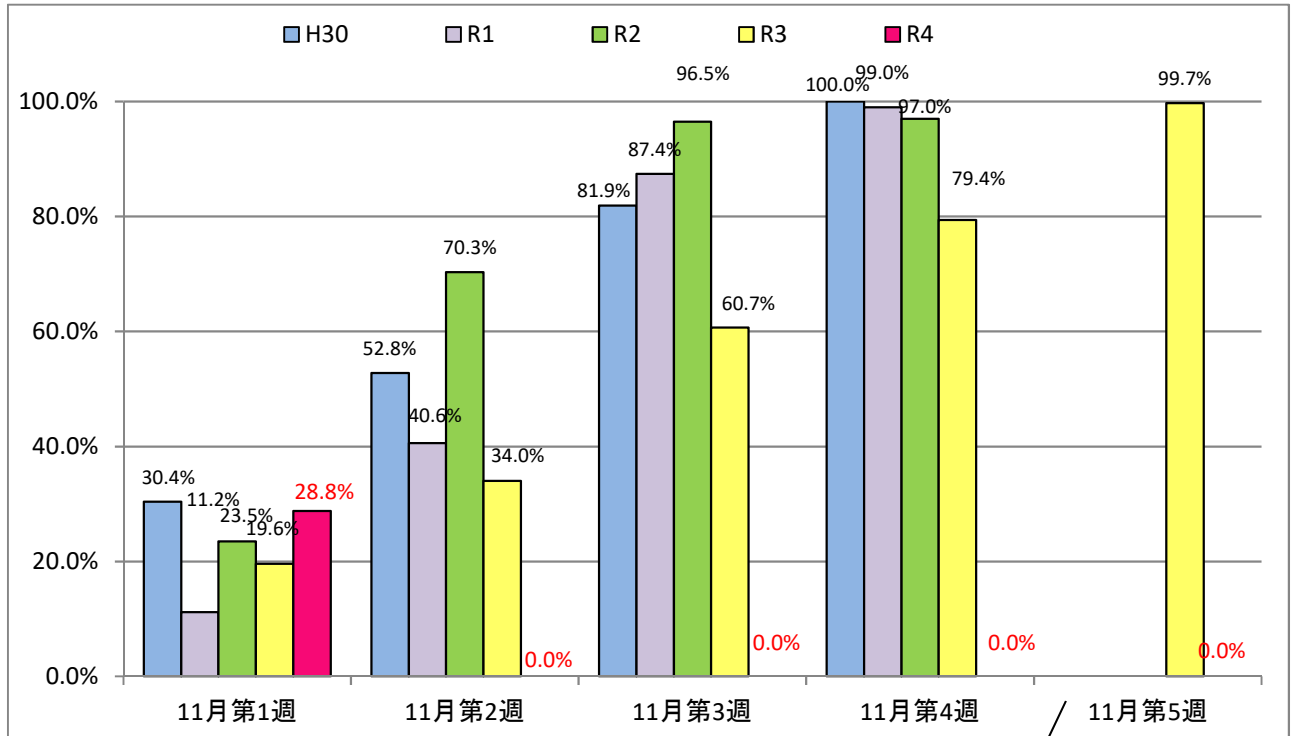
秋田河川国道事務所 副所長（道路） やまもと さとし 山本 賢
代表電話018-823-4167（内線205）

湯沢河川国道事務所 副所長（道路） さいとう まこと 斎藤 信
代表電話0183-73-3174（内線205）

能代河川国道事務所 副所長（道路） きさき みのる 佐々木 稔
代表電話0185-70-1001（内線205）

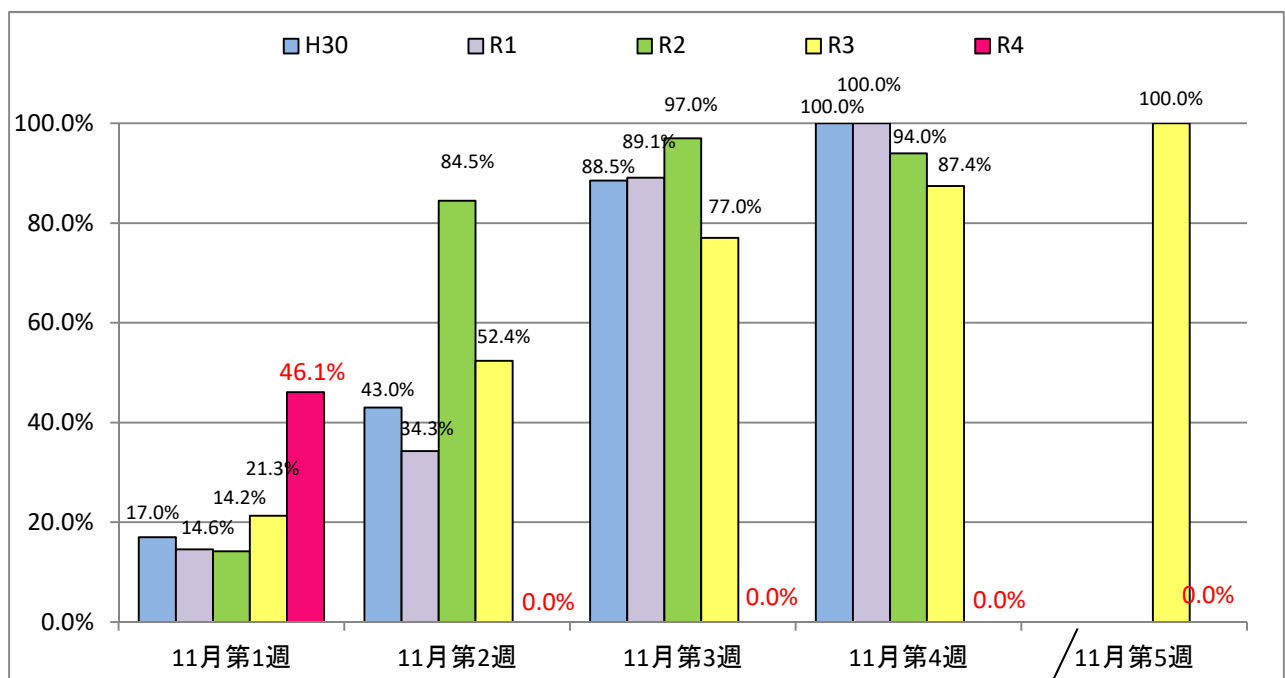
○冬タイヤ装着率【平成30年度～令和4年度の比較】

【3地点合計】



H29～R02はデータ無し

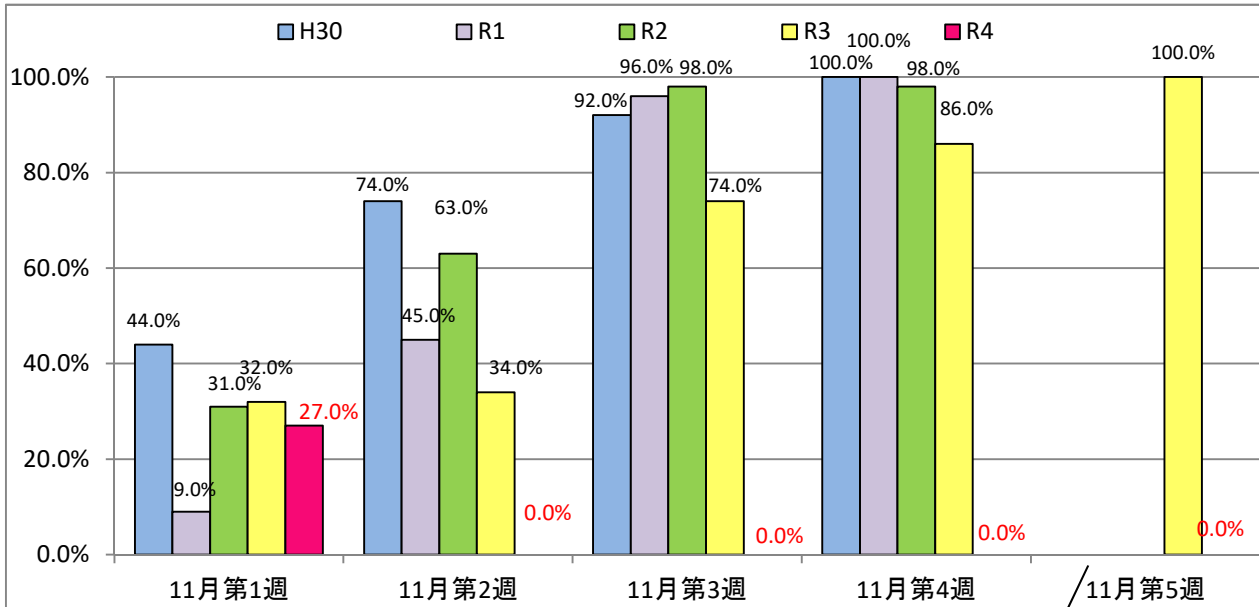
【R46 仙岩峠】



H29～R02はデータ無し

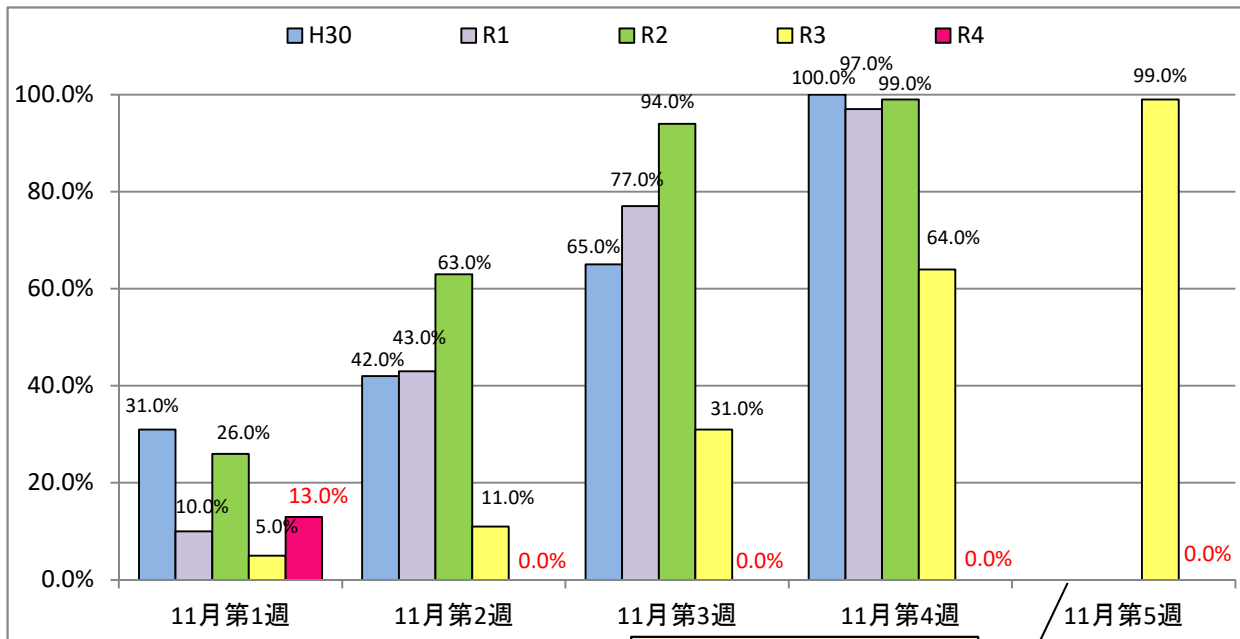
○冬タイヤ装着率【平成30年度～令和4年度の比較】

【R13 雄勝峠】



H29～R02はデータ無し

【R7 矢立峠】



H30～R02はデータ無し

※調査方法について

本調査は、3地点の交差点部において1地点につき概ね100台、信号で停車している車両を確認し、冬タイヤ等(全車輪に滑り止めの性能を有するタイヤ又はチェーンを取り付ける等、滑り止めの措置を講じている車両)を装着している車両をカウントしています。

「冬タイヤ装着率」とは、冬タイヤ等を装着している車両を全調査車両(普通車や大型車の合計)で除法算出しています。

H30～R02の3年間は、第4週までに装着率が概ね100%に達しており調査を終了したため、11月第5週のデータがありません。